

図書館サービスの今後の方向性

	10年後の姿	具体的な取組	
区民の学びと自立を支える課題解決支援型図書館	○ 地域の情報拠点として、区民の学びと自立を支える	① 各館の個性づくりを目指した蔵書構成の充実	○ 図書館の基本的な役割である「課題解決支援」については、今後もその性格を継承する。
	○ 生活や地域の課題解決を支援する	② より専門的な課題にも対応できるレファレンス・サービスの充実	○ 課題解決支援型の機能としては、従来の図書資料の提供（レファレンス機能含む）のほか、以下の2点を追加。
	○ そのために、図書資料を多様な媒体で収集保管 + 区民のライフステージやライフスタイルにおける専門的な事柄にも対応できる機能	③ 地域のボランティア団体等の育成・活動支援や、ボランティア団体等との連携事業の実施	① 自己解決支援（所蔵資料を利用しない自習等の滞在型利用への支援） ② 課題提起型支援（司書等が新たな興味を喚起する素材の提供等を行う）
		④ 電子書籍（障害者向けデジタイズ図書、地域資料などを中心に）の収集・提供	○ 規模の大きい中央図書館、中野東中学校等複合施設内図書館、（仮称）鷲宮新図書館については、運営テーマを設定し、蔵書構成への反映も行う。
		⑤ 情報活用力の向上のための講習会等～はじめてのタブレット型PC講座、情報検索活用講座など	○ 一般向けの電子書籍については、出版業界の成熟を待って対応を検討する。
		⑥ 中野のまちづくりの進展に併せた、学生、ビジネスマン、外国人向け資料の充実	

	10年後の姿	具体的な取組	
家庭、学校、地域と連携し、子ども読書活動を支援する図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの読書活動の推進 ○ 家庭、学校、地域、図書館が各々主体的に、また相互に連携しながら取組を進める ○ 子どもたちの自主的な読書活動の動機付けと読書環境の整備 	<p>① 子ども読書活動推進計画の取組推進～特に、子どもと保護者が本に触れ合う機会の創出、地域の乳幼児施設におけるボランティア活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児親子の動機付けの充実（ブックスタート事業等）。 ○ 就学前の一貫した読書活動の推進体制の構築と学校図書館への引継ぎ・連携。 ○ アウトリーチによる読書活動の支援（図書館からの働きかけの拡大）。 →アウトリーチは子ども以外も対象。
		<p>② 地域開放型学校図書館の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の学習環境の拡充。 ○ 子ども読書活動の促進。 ○ 区民の利便性の向上（貸出・返却窓口）。 ○ レファレンス・サービスの提供。 ○ 子育てやまちづくりなど地域課題の解決に資する図書の実。 ○ ボランティア団体等の交流ネットワークづくりを推進。 ○ 小学校の大規模施設整備を行う際などに、順次導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料2「地域開放型学校図書館の整備」参照。

	10年後の姿	具体的な取組	
郷土の歴史と特性を活かし、文化を創造・発信する図書館	○ 区にゆかりのある作家等の情報や、史跡・旧跡・文化財等の観光資源情報を収集・発信	① 中野区ゆかりの作家等に関する情報や、史跡・旧跡・文化財等の観光資源情報の収集・発信	○ 地域資料の収集・発信は、自治体の本来業務であり、継続的に充実させることが望ましい。
	○ それにより、区民の地域への愛着の形成や、観光・地域活性化が図られている	② 行政資料・地域資料の電子化と閲覧・貸出サービスの実施	○ 地域団体等（町会、友愛クラブ、民生児童委員等）との連携と活動紹介等の実施。
		③ 区内大学など区内の様々な機関との協働による、多様な事業の実施	
		④ なかの里・まち連携自治体等との協働による、魅力ある事業の実施	
		⑤ 魅力的な蔵書構成や時機に対応した事業展開＋多様な広報媒体を活用した文化情報の積極的なPR	
		⑥ 郷土資料等の提供による、区民学習グループ等への知的活動支援	

	10年後の姿	具体的な取組	
良質な区民サービスを提供する図書館	<p>○ 情報通信技術等を活用した効率的な事業展開</p> <p>○ 誰もが簡単かつ快適に図書館サービスを受けられる</p>	<p>① 簡素効率的な図書館運営～サービス向上と経費節減</p>	<p>○ 自動貸出機等については、令和3年度に中央図書館、坂上新図書館に整備を行う（大規模館のみに設置する）。</p> <p>○ 施設配置については、資料5「図書館サービス網図」参照。</p>
		<p>② 関係機関との協働（地域商店街、医療機関、ボランティア団体等）</p>	
		<p>③ ICタグとBDS自動貸出・返却機の導入</p>	
		<p>④ 図書館の今後の機能の拡充</p> <p>○地域図書館：課題解決支援機能や地域文化の発信拠点としての機能を強化+個性ある地域図書館の充実。施設配置の見直し</p> <p>○地域開放型学校図書館（小学校）：学校教育関連の児童図書を中心+地域の課題解決支援に資する図書。</p>	
		ユニバーサルデザインの推進	<p>○ 障害者サービスの周知の充実(属性別の広報、掲示)。</p> <p>○ 視覚障害者等に係わる音声読み上げ機、拡大読書器、デイジー図書の複写サービス（CD）等の配備</p> <p>○ デイジー図書等の拡大とレファレンスサービスの充実。</p> <p>○ 読書バリアフリー法に基づく対応の推進。</p>